

経営哲学／移り変わりの激しい経済社会の中で、伝統を守り生き抜いてきた“老舗”。永年にわたり培われてきた独自の英知と理念をちよつとのぞいてみよう！

代々に伝わる仕事を

今月の老舗



有限会社 西村印房

老舗事始：明治19年（1886年）
主：品田 理恵 母：西村 このゑ
前橋市千代田町 2-2-14
Tel. 027-231-3884

熱心な人でした。お陰さまで昭和50
三代目である祖父 西村勇（戦後
より西村孤洞と称す）は本場に仕事

有限会社とし今に至ります。
ました。昭和26年に現在地に移転、
を焼失。その看板も焼失してしま
ました。昭和26年に現在地に移転、
有限会社とし今に至ります。

Q 会社の歴史を 教えてください

品田理恵さんにお話を伺った。
120年余に亘り、その証を作り
続けてきた会社がある。千代田町に
ある有限会社西村印房の五代目主、

日本の文化「はんこ」。漢委奴国
王印」として知られる金印も二千年
の歴史を持つことを御承知であろ
う。現在でも大きな買い物や金融機
関での取引の際など、生活の中で捺
印する機会はとても多い。書類に判
子を捺すということは、「書いてあ
る内容を認めた」ということ。つま
り本人の証である。

A 明治19年、曾祖父の西村三
郎平が横山町にて創業いたし
ました。創業時は屋号を「山成堂」
と名乗り、現在の店舗から国道17号
を挟んで反対側あたりで営業をし
ておりました。明治の三筆の一人、
巖谷一六に「御彫印師」と書いてい
ただいた大看板が店舗に掲げてあ
ったそうです。しかし、戦争で店舗
を焼失。その看板も焼失してしま
いました。昭和26年に現在地に移転、
有限会社とし今に至ります。

年に群馬県総合表彰、昭和52年には
勲六等瑞宝章を受章させていただ
きました。「商人はお客様に有名に
ならなければいけない」と、昼間は
御用聞きにお客様周り、夜は寝る間
を惜しんで判子作りを毎日続けて
いました。昔は機械など無かったで
すから、実印から三文判に至るまで
全て手彫りです。ゴム印もそうでし
たね。印影となる版下も手書きでし
た。祖父は本場に彫印ひとすじの人
で、92歳になるまで作り続けていま
した。

Q 大変な事は何ですか 反対に良かったことは

A 大変なことはやはり、時代
の移り変わりででしょうか。パ
ソコンが普及している現代、ゴム印
の使用がめっきり減ってきました。
判子もそうです。ちよつと前まで
宅急便にも必ず判子を使っていた
でしょう。でも今はサ
インで済みますよね。
これからの世の中、実
印もデジタル化される
時代が来るのではない
でしょうか。

良かったことは、お
陰さまで代々築いてこ
られた歴史により、当
店の仕事をお客さまに



現在は機械彫りになったが、
意匠を付ける作業は手彫りで行う

A 判子は1点ものです。特に
実印など、世界に1つしか
ないものです。とても大事なも
のです。お客さまの要望に
応えられるよう、心を込めて製作させて
いただいております。また、判子と
いう特性上、一生に一度きりの当店の
利用がもしれません。だからこそ、
子供の代、孫の代まで伝わるような
仕事をしていきたいですね。判子と
いう需要がある限り、この仕事を続
けていきたいと思えます。

Q 経営ポリシーと今後の方針

信用・信頼していただけること
です。祖父の代の繋がり、現在もこ
ひいきにしてくださいとお客さまが
おります。本場にありがたいこと
です。



様々な印材と書体の見本が店舗に並ぶ

日本工業規格認定工場

宮田コンクリート工業株式会社

コンクリート製品製造販売・各種縁石・下水道用マンホール・各種溝蓋・U字溝

本社 前橋市川原町376 〒371-0046 TEL:027(288)6311
工場 前橋市富士見町石井1639-1 〒371-0105 FAX:027(288)6898

「うんまい」という 子どもたちの笑顔のために



同社の代表製品たち

スーパーマー
ケットの一角、
いつもお馴染み
の縦長四角の紙
パック。ちょこ
んと窪んだ凹み
がチャームポイ
ントの「牛乳」だ。
年間通して提
供されている牛

乳だが一番美味しい季節、それは今
!! なぜなら冬場だけ、牛乳の乳脂肪
分が上がリ「コク」が生まれるから。
小さい頃から親しんできた牛乳の
ちよつとお得なヒミツに出会える。
今回ご紹介の「関東製酪(株)」だ。

経験による確かな裏付け

同社の創立は昭和13年。実は秘か
な酪農王国の群馬には、同社以外に
も県内に多くの中小規模牛乳工場が
存在した。各社が抱える諸問題には
共通する部分も多い。その事に気付
いた同社を始め県内の乳処理工場4
事業と1酪農団体組織が、その解決
と各事業所の個性と力を結集させる
べく平成10年「群馬牛乳協業組合」
を設立した。現在同組合は、同社か
ら社員が外向して運営している。

工場を郊外の飯土井町に造ったの
は、契約するあらゆる酪農地に近い
場所を求めた結果。だから集乳から
殺菌までの工程がとて迅速。おい
しい牛乳の決め手は、前述の「コク」
以上に「風味」が重要。臭覚、味覚、
触覚によって左右される「風味」
は、良い生乳を新鮮なまま殺菌
処理することで保つことが出来
るのだ。

もちろん集乳された牛乳は、
全てが製品になれるわけではな
い。加工の前段階で、数値によ
る検査の他、まずは人の舌によ

って風味の良し悪しの判断が下され
る。こうした厳しい難関をクリアす
ることで、同社の代表製品である(株)
明治の「おいしい牛乳」を始め全て
の製品が、高水準のおいしさまで高
められていく。

「安全・安心」そして もちろん「おいしい」 牛乳を求めて

同組合は、設立当初から志が高く、
目指したのは「HACCP（ハサツ
ブ）承認」だった。HACCPとは国
が定める高度な衛生管理手法のこと。
原料の受け入れから製造・出荷まで
の全ての工程で、危害の発生を防止
するための重要ポイントを継続的に
監視・記録するというもの。これに
より、もしもの事態にも迅速に対応
することが出来る。今も前橋市で承
認が叶ったのは同組合だけ。

その他、県内で2事業所しか実践
できていないESLの導入も始まっ
ている。ESLとは、美味しさはそ
のままに、今まで製造から7日間だ
った賞味期限を倍の14日へ延長可能
にする技術のこと。これには牛乳を
パックに充填する際の技術と、パッ
ク自体の両方に仕掛けがあるという。
もちろん環境面への配慮も怠らな
い。2003年には、ISO
14001認証を受け、発電の際に
生じる熱エネルギーを再度発電に利
用するコージェネレーションの導入や、

工場の使用エネルギーを重油から液
化天然ガスへ転換したことでCO2
排出量の年間600tもの削減を可
能にした。
人にはもちろん、環境にも優しい、
目指すは「地球から愛される工場」
という。

おいしさの隠し味

「うんまい牛乳」と言えば、今の子
どもたちにはお馴染みであろう。県
内では50%のシェアを誇り、前橋に
至っては、同組合設立以来100%
のシェアを誇る小中学校での給食用
牛乳だ。しかしこの名前、実は6年
前に変えられたもの。もとは「GM
C牛乳」と、同社コーポレートロゴ
の群馬牛乳協業組合の英文の頭文字
を前面に押し出した名前だった。し
かし子供たちの「GMCってなに
に?」という素朴な疑問を反映して、
6年前「おいしい」を群馬弁で表す「う
んまい」へ変更となったのだ。

お客さまとのコミュニケーション
を続けて行くことこそ「おいしさの
隠し味」と語る同社。子どもたちの
ちよつとした疑問も聞き逃さない高
いアンテナを持つ。全国に展開する
反面で、地元にも近い親しみある企
業、それが「関東製酪(株)」。前橋に暮
らしたら、こんな美味しい牛乳が毎
日学校で飲めるんだぞ!と思わずち
よつと自慢したくなってしまう。



ESL 使用殺菌機



ESL 使用充填機 (ケーブルパック)

※ HACCP=Hazard Analysis
Critical Control Point
※ ESL=Extended Shelf Life

■関東製酪(株)

前橋市飯土井町 426 番地 2
Tel. 027-280-7311



地下水・温泉開発・地質調査・水中ポンプ

田中鑿泉

本社 〒371-0014 前橋市朝日町3-32-11
TEL(027)224-1841 FAX(027)221-5338

悠久の歴史に思いを馳せる 東国千年の都

「初市」と時期を同じくして今年も前橋市街地で「前橋・高崎連携事業 東国千年の都」文化財展が開催される。

気になる今年のテーマは豪華2本立て。第1部「いい顔してるね。―出土品に見る顔の世界―」に加え、第2部は「古代の寺・役所探しています」。

上野国の栄華を今に語る

全国にその名を轟かせる武将、平将門。彼が朝廷の権威の象徴である印と鍵を奪う為、関東諸国の寺や役所を焼き打ちにして回ったのは有名な話である。しかしこれが、それから先の未来に影を落とすただでなく、実は過去へも影響を及ぼしたかもしれない。

古代、朝廷はその力を見せつけるためにあらゆる事をやっていた。例えば道を作るにあたっては「真直ぐである」ことにこだわった。沼があれば埋め、主張を貫くことで朝廷に不可能がないことを見せつけた。そうまでして作った都からの道「東山道の駅路」が、群馬県を通り栃木県を抜け東北へ至るのは、古代「上野国」として栄えた群馬県が中央を支える重要な役割を果たしていたことに他ならない。

中でもとりわけ前橋・高崎は遺跡の数が多く、この事をより多くの市民の皆さまに知ってもらいたいと、



山王廃寺跡出土の塑像

またこの塔、中身も法隆寺五重塔の初層と同様で、柱を囲むように東西南北の四面に釈迦の仏伝の各シーンを再現するように塑像が群をなして並んでいたと考えられる。出土したこれら

◆イベント情報

平成 23 年度 前橋・高崎連携事業 東国千年の都
第 1 部「いい顔してるね。―出土品に見る顔の世界―」
第 2 部「古代の寺・役所探しています」

◎前橋 / 1月7日(土)～1月16日(月) 午前9時～午後6時
前橋プラザ元氣 21 1F にぎわいホール
◎高崎 / 1月21日(土)～1月30日(月) 午後9時～午後6時
高崎シティギャラリー 2F 第6展示室

これ以外にも土偶に埴輪 様々な時代を反映する「顔」が紹介される今回の展覧会。この正月、ゆっくりと悠久の歴史へ思いを馳せながら、古代の謎解きに挑戦してみたいかがたろう。

平成19年に今まで発掘・収蔵してきた品々を趣向をこらしたテーマのもとに選りすぐり、前橋と高崎で巡回展示を始めたのが同展覧会の経緯である。毎年好評を博し、昨年は前橋会場だけでも9日間で3,300人も来場したという。

法隆寺に匹敵!?

さて、前述の群馬県の重要性は、発掘された遺跡や出土品が物語っている。

現在の前橋市総社地区にある「山王廃寺跡」は、「塔心礎」とよばれる建物の基礎が大正10年に見つかった事でその存在が明らかになった。遺構から建物の高さを知るのには難しく、あくまでも推測の域を出ないが、中心の柱の太さは、直径90cmと奈良の法隆寺五重塔の柱に比類するものがあり、このことから、大層立派な五重塔があったことが推測される。なおかつ出土した石造品の加工技術は大変高度なもの。当時の県内には、これほど卓越した技術はないと考えられ中央から派遣された職人の作と見られている。

偶然の連続が作り上げる歴史

さて、実はこの「塑像」の頭部こそ今回の展示第1部の目玉と言える。なぜなら今に残っている事が奇跡に近い大変貴重な逸品であるためだ。奈良時代に流行したこの塑像は通常、粘土で造形され焼いていない。したがってよほど丁寧に保管をされない限り、時を経るうちにその多くが溶けて跡もなくなってしまうのだ。ところが前述した平将門による焼き打ちにもくしたら遭ったがために、これらの塑像は粘土が焼かれ、発掘までその形を保つことが出来たのである。

文化財に、見え隠れするドラマチックな事件の痕跡たち。一見とつつきにくくもある文化財だが、あらゆる偶然の連続がこれらを今に残している事、そこから進められる謎解きはなんと口マンにみち溢れる作業になる。

これ以外にも土偶に埴輪 様々な時代を反映する「顔」が紹介される今回の展覧会。この正月、ゆっくりと悠久の歴史へ思いを馳せながら、古代の謎解きに挑戦してみたいかがたろう。

上毛エコステーション新設オープンしました 環境対応型産業廃棄物中間処理場

総合建物解体工事・ビル管理・警備全般
廃棄物処理・資源回収

上毛資源株式会社

本社 前橋市高井町一丁目13番地の4 URL: <http://www.j-shigen.co.jp>
TEL 027(251)7395 FAX 027(251)7337



JOMOSHIGEN

『ぐんま産学官連携による畜産環境改善技術の開発』

第6回モノづくり連携大賞「中小企業部門賞」受賞！



「環境に調和した地域産業創出プロジェクト」事業目的

群馬県は、首都圏の水瓶と呼ばれる水源県であるとともに、全国有数の畜産県であり、関東圏の水と食肉需要を支え続けている。しかし、その一方で年間約300万トン超の畜産排せつ物の処理は畜産農家への負担が大きく、臭気が周辺に漂うという課題も残っていた。

このような中、群馬県は平成18年より環境保全（水環境の保全、畜産臭気（低減）と産業振興（ものづくり産業の振興、都市部近郊で営むことができる畜産業の実現等）の両立を目指し、「環境に調和した地域産業創出プロジェクト」をテーマに（独）科学技術振興機構の支援を受けて、家畜環境改善技術の開発に取り組んできた。

本プロジェクトの推進にあたっては、群馬大学、前橋工科大学、群

馬工業高等専門学校などの高等教育機関、(株)ヤマト（前橋市）、(有)チー・エヌ・エス・テクノセールス（渋川市）、(株)キンセイ産業（高崎市）、石井商事（株）（高崎市）などの企業、(独)日本原子力研究開発機構、群馬県畜産試験場などの研究機関の「智」を結集し、当所曾我孝之会頭が企業化統括、群馬高専の小島昭特命教授が代表研究者となり、事業化・企業化を目指した強固な「産学官連携」体制を構築した。

今般、本プロジェクトの成果が日刊工業新聞社主催の第6回モノづくり連携大賞「中小企業部門賞」を受賞した。モノづくり連携大賞は、2006年より産学官連携の成功モデルを世の中に送り出すことを目的に創設された表彰制度である。受賞した「畜産環境改善技術の開発」では、たい肥製造装置から排出される悪臭アンモニアの濃度を10分の1までに減らすことが出来る「ファイバーボール脱臭装置」、畜舎やたい肥舎から発生するアンモニア・有機酸などの二オキシを気にならない程度にする「軽石脱臭装置」を開発・商品化した。また、家畜の尿汚水中のリン・窒素を短時間で除去し、着色した排水を無色に変え二オキシもなくすることが出来る、炭素材と鉄を



アンモニアの濃度を10分の1までに減らすことが出来る「ファイバーボール脱臭装置」

用いた「すーぱーピーとる」も商品化した。さらには、家畜のフンから燃料を取り出す技術について、600℃という低温でタールの発生なく完全にガス化する技術を確立し、生成ガスを燃焼して発電・充電することができた。また、タールを効率良く分解する触媒を、ニッケルめつき廃液から製造する技術を開発した。これはエネルギー効率が高いだけでなく、触媒として使うニッケルを微粒子として回収できるため、経済的に優れた世界最先端の技術であり、今後事業化を目指している。

5年間の本プロジェクト中、参画した研究者、企業の努力により事業化・企業化を常に意識した研究開発を行い、商品化、実用化段階にある数多くの成果を得た。今後の展開として、参画企業による実用化研究、各種補助制度や国等研究資金の活用によって、これまでの研究成果の事業化や研究の発展を推進していく。産学官が強固に連携することで「環境・エネルギー」分野の技術開発の推進、研究開発成果の普及促進、さらに地域の産業振興を図っていく。

■お問合せ
群馬県企画部企画課
科学技術振興室
Tel. 027-226-2321

嘉永三年創業

丸大オヲツヤ

こんにゃく、寒天、みつ豆

和魂洋才 伝統が培った味を守りつつ 時代を見据えた開拓の味を造り出す心。

敬客愛品 感謝の気持ちを大切に、お客様に喜ばれる商品造り。

（株）丸大オヲツヤ商店 代表取締役 福村 啓

前橋市五代町678-3 TEL:027(212)7002 FAX:027(212)7003
http://www.fiber.co.jp/

オンラインショッピング開催中！今すぐアクセス！ <http://www.rakuten.ne.jp/gold/owotuya/>

オーナー会社の事業承継と相続

会社を相続させる場合の効
果的な税務対策は？

AQ
会社相続の税務対策は、自
社株についての効果的な節
税対策を行うことです。

中小企業において会社を相続させることは株式を承継させることです。会社を相続することのできる、株式譲渡を巡る課税関係と考えることができます。そして、自社株を評価する方法は種々ありますが、評価にあたっては、会社の資産が一応の基準となります。この時、会計原則では、取得原価主義となつていきますので、会社の決算書には購入時の価格を基準として記載されているかと思いますが評価する時には、時価主義が原則となりますので、地価が高騰している場合は、土地や借地権などの「含み益」を考慮しなければなりません。また、株式の譲渡については、平成元年4月1日以降、キャピタルゲイン課税がなされ、年中に発生した株式の譲渡益を確定申告し、右譲渡益につき他の所得と分離して20%の税率の所得税が課されま

す。

自社株の相続対策はその株をいくらと評価するのがポイントです。自社株の評価をできるだけ下げることが節税に役立ちますが、時価より著しく低い対価で財産を譲り受けた場合には、「時価」と「譲渡価額」との差額に「贈与税」が課せられることになるので、適切な方法で「時価」を下げることに



必要になります。

純資産価額を下げる方法としては、土地等の「含み益」を利用して、担保に借入をして土地に建物を建築する方法が考えられます。建物の相続税評価額は固定資産税評価額ですので、時価の5〜6割程度で評価されますので、含み益を半減させることができる訳です。また「含み益」を有している資産を現物出資して別会社をつくって

自社株の評価を下げる方法も考えられます。また、増資手続を利用して株式評価を下げる方法も考えられます。増資の際に、新株引受権を譲渡したり、失権株を引受させたりして、会社の支配比率を徐々に移転する方法です。但し、この場合には時価と払込価額との差額が贈与とされて、贈与税が課されることを折り込んで引受株数を決定すべきです。

閉鎖した会社で、オーナーが死亡しその主な資産が会社の株式だけというような場合、相続税を納付するために株式を譲渡して換金せざるを得ない事態が生じることがあります。しかし、閉鎖会社の株式は市場がないために売却は困難で、無理して売却すると相続を契機に、会社にとって好ましくない第三者が会社に参加してしまうという不都合な事態が生じかねません。そこで、閉鎖会社においては、会社が株式の相続人から一定の限度株式を買い取れる、相続税の納付を助ける制度になっています。

やさしい・あたたかい・楽しさ

TIME CLIP

BUNSHINDO

Bookman's Academy

株式会社 文真堂書店

代表取締役社長 星野 洋一
高崎市井野町682-1 TEL027(364)9000

<http://www.bunshindo.jp>

